地元民の「ご当地愛」と自県への旅行おすすめ度

沖縄、北海道の意識高く

じゃらんリサーチセンター調べ

リクルートが同社旅行カンパニー内に設置している研究部門「じゃらんリサーチセンター」がこのほど行った調査で、沖縄、北海道の両都道府県民が最も長く住んだ都道府県に現在も居住している人を「地元定着者」から各都道府県100人前後、計4681人の回答を収集した。

自分の住んでいる「ご当地県」への愛着度では、沖縄県が最も高く65・0％で、北海道は2位の62・6％。自県に旅行に来てほしいと思っている人が最も多かったのは、60・0％の人が来てほしいと答えた北海道で、次いで56・3％の沖縄だった。

調査は昨年11月20～12月7日の予備調査を経て、12月10日～12月28日に実施。18歳までの間に「とても愛着を感じる」と答えた人の割合で各都道府県を順位付けした。

「地元への旅行のおすすめ度」では、それぞれの地元定着者が何かしらの強い誇りを持っていることが読み取れる。

その一方で、東京、山梨、岐阜、千葉4都県がそうだ。

テーマ別ランキングの上位10位に登場していないランキングを紹介したい。4都県は旅行おすすめ度ランキングでも39位以下に位置しており、地元民が強く愛着を持った事物の存在と旅行おすすめ度との関連が読み取れる。

「温泉」「祭り・イベント」など12のテーマについても愛着度を調べた。

テーマ別の愛着度調査では、それぞれ各県のランドマークともなっているような温泉や神社仏閣、自然遺産、郷土食を口、岐阜、千葉4都県がそうだ。

テーマ別ランキングの上位10位に登場していないはランキングを紹介したい。「歌・歌9項目のほか、「地元出身のタレント」「甲子園・高校サッカーなど学生スポーツ」についても調査している。

テーマ別　ご当地愛ランキング

■温泉

	都道府県	%
1	大分県	52.9
2	鹿児島県	52.5
3	群馬県	51.0
4	長野県	46.5
5	愛媛県	43.0
6	山形県	39.2
7	鳥取県	38.6
8	岩手県	37.8
9	熊本県	37.6
10	宮城県	36.6

■海・湖・河・山などの自然

	都道府県	%
1	滋賀県	54.1
2	福島県	39.8
3	熊本県	39.6
4	鳥取県	37.5
5	青森県	36.6
6	静岡県	35.6
7	山梨県	35.0
8	長野県	34.3
9	岩手県	33.9
10	島根県	31.8

■神社・仏閣・城・文化遺産

	都道府県	%
1	奈良県	45.5
2	京都府	43.6
3	島根県	43.0
4	長野県	42.4
5	三重県	42.0
6	熊本県	39.6
7	栃木県	37.8
8	兵庫県	30.7
9	和歌山県	29.0
10	岩手県	25.7

■祭り・イベント

	都道府県	%
1	青森県	49.5
2	徳島県	47.5
3	高知県	39.1
4	宮城県	35.6
5	京都府	31.7
6	福岡県	28.0
7	秋田県	27.1
8	長崎県	24.2
9	佐賀県	23.2
10	長野県	22.2

■方言・なまり

	都道府県	%
1	福岡県	48.0
2	大阪府	47.0
3	沖縄県	45.7
4	広島県	44.0
5	鹿児島県	43.4
6	青森県	40.6
7	京都府	36.6
8	熊本県	34.7
9	高知県	34.1
10	秋田県	34.0

■地酒

	都道府県	%
1	新潟県	31.0
2	沖縄県	26.9
3	鹿児島県	21.2
4	青森県	19.8
5	福井県	19.8
6	秋田県	18.8
7	山形県	18.6
8	熊本県	16.8
9	長野県	16.2
10	富山県	16.0

■郷土料理・ご当地グルメ

	都道府県	%
1	香川県	55.0
2	秋田県	42.2
3	沖縄県	41.3
4	福岡県	39.0
5	長崎県	37.4
6	栃木県	36.7
7	愛知県	35.6
8	長野県	35.4
9	宮崎県	34.7
10	大分県	33.3

■地元キャラクター

	都道府県	%
1	滋賀県	20.4
2	鳥取県	14.0
3	徳島県	13.1
4	秋田県	11.9
5	群馬県	10.0
6	大分県	9.8
7	奈良県	9.1
8	沖縄県	7.1
9	岡山県	7.0
	高知県	

■野球球団・サッカーなどクラブチーム

	都道府県	%
1	宮城県	42.6
2	広島県	33.0
3	福岡県	25.0
4	兵庫県	24.8
5	北海道	24.2
6	茨城県	21.2
7	静岡県	20.8
8	大分県	17.6
9	新潟県	17.0
10	埼玉県	15.0
	神奈川県	
	大阪府	

ご当地愛と旅行おすすめ度

■地元に愛着を感じるか

順位	都道府県	%
1	沖縄県	65.0
2	北海道	62.6
3	京都府	57.4
4	福岡県	54.0
5	宮城県	53.5
6	鹿児島県	50.5
7	滋賀県	50.0
8	大阪府	46.0
9	神奈川県	45.0
10	兵庫県	42.6
11	富山県	42.0
12	静岡県	40.6
13	岩手県	40.4
14	青森県	39.6
15	長野県	39.4
16	愛媛県	38.0
17	熊本県	37.6
18	長崎県	37.4
19	福島県	36.7
20	広島県	36.0
21	大分県	35.3
22	愛知県	34.7
23	新潟県	34.0
24	東京都	33.7
	宮崎県	
26	島根県	32.8
27	栃木県	31.6
28	高知県	31.1
29	三重県	31.0
30	群馬県	30.0
31	茨城県	29.3
32	福井県	27.7
33	鳥取県	27.4
34	奈良県	27.3
35	石川県	27.0
	山梨県	
37	佐賀県	26.6
38	千葉県	26.0
	香川県	
40	徳島県	24.2
41	山口県	22.8
42	岐阜県	21.8
43	秋田県	21.5
44	和歌山県	20.0
	岡山県	
46	山形県	17.6
47	埼玉県	16.0

■地元への旅行のおすすめ度

順位	都道府県	%
1	北海道	60.6
2	沖縄県	56.3
3	長野県	53.5
	長崎県	
5	熊本県	48.5
6	鹿児島県	47.5
7	宮城県	46.5
8	福島県	44.9
9	青森県	44.6
	京都府	
11	山形県	44.1
12	高知県	42.2
13	新潟県	41.0
	和歌山県	
15	宮崎県	40.6
16	岩手県	39.6
17	三重県	39.0
	愛媛県	
19	香川県	38.0
20	大分県	37.3
21	富山県	37.0
	広島県	
23	鳥取県	36.9
24	栃木県	36.7
25	石川県	36.0
26	島根県	35.3
27	山梨県	35.0
28	静岡県	34.7
29	福井県	33.7
30	福岡県	33.0
31	秋田県	32.3
32	群馬県	32.0
	大阪府	
	岡山県	
35	兵庫県	31.7
36	滋賀県	30.6
37	神奈川県	28.0
38	徳島県	27.3
39	山口県	25.7
40	奈良県	25.3
41	佐賀県	25.0
42	茨城県	24.2
43	東京都	20.4
44	千葉県	19.0
45	岐阜県	17.8
46	愛知県	16.8
47	埼玉県	5.0

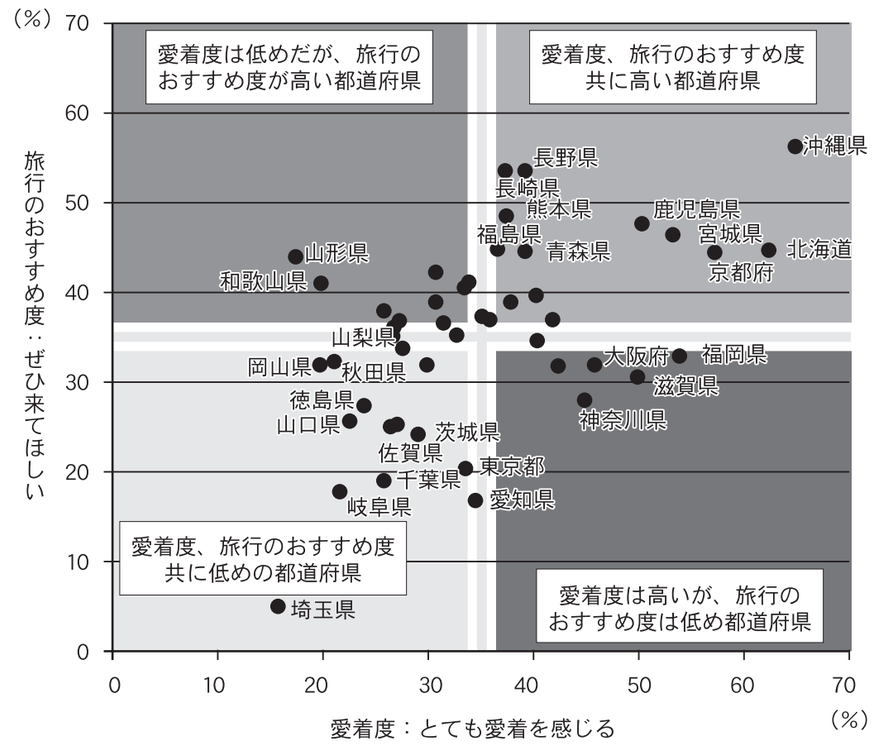
地方ほど居住エリアとご当地エリアの一致度高く

■現在の居住エリア別　各エリアへの人口流入状況

		調査数	ご当地エリア（18歳（高校卒業程度）までの間に、最も長く住んでいた都道府県のエリア別の合計）									
			北海道	東北	北関東	首都圏	甲信越・北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄
全　体		83,686	5.4	8.3	5.1	21.8	7.4	11.9	17.0	7.1	3.7	11.4	0.8
現在の居住地	北海道	3,737	89.6	1.1	1.4	4.7	0.3	0.7	1.5	—	—	0.7	—
	東北	6,090	1.8	85.8	1.1	6.3	1.1	1.3	1.4	0.2	0.2	0.8	0.1
	北関東	4,562	2.0	5.5	67.7	12.0	2.8	2.1	3.5	1.6	0.5	2.2	0.1
	首都圏	23,700	3.0	5.0	3.5	65.5	4.5	4.4	5.5	2.6	1.3	4.5	0.2
	甲信越・北陸	5,407	1.1	1.9	1.1	6.7	80.7	3.0	2.9	0.5	0.6	1.4	0.1
	東海	9,780	0.2	0.4	0.7	3.9	2.9	81.3	5.8	1.9	0.5	2.2	0.1
	関西	13,725	0.8	0.4	0.1	2.9	1.2	3.3	81.4	5.2	1.8	2.8	—
	中国	4,835	0.4	0.4	0.2	2.7	0.6	0.7	5.1	83.0	2.6	4.4	—
	四国	2,570	0.5	0.4	0.2	1.2	0.1	1.1	4.6	2.9	87.4	1.7	—
	九州	8,421	0.9	0.4	0.5	2.4	0.6	1.0	3.4	2.4	1.1	87.1	0.2
	沖縄	858	0.7	2.7	1.2	7.7	1.0	1.9	6.6	1.5	0.7	4.4	71.6

※網掛けはそれぞれ下記のとおり　構成比が最も高いエリア
※調査数はウエイトバック後の数値　構成比上位３エリア（主な流入元）

■愛着と旅行のおすすめ度の関係性



調査データ